

総合戦略事業評価シート

1	担当課	水産商工観光課 総合戦略課	係	水産係・観光係 企画係				
2	事業名称	中泊メバ活プロジェクト～津軽海峡メバルによる水産観光の創生～ (地方創生推進交付金事業)						
3	事業期間	平成29年度 ～ 31年度 ※評価対象は、平成30年度実施事業分(平成30年4月～平成31年3月)						
4	事業実施主体等	中泊町(水産商工観光課・総合戦略課)、中泊メバル料理推進協議会						
5	事業目的等	<p>町の水産業は、平成28年度のイカの不漁にあったように水揚げの減少に加え、漁師の高齢化・若手の漁師離れなど深刻な影響を受けている。しかしながら、メバル漁は、気候等による水揚げ量の増減があるものの、メバル膳のヒットなどにより単価の上昇をキープしていることから、漁師の所得の向上につながっている。また、中泊メバル膳のヒットで、提供店舗の収入、雇用、関連消費、観光入込客の増、そしてメバルの単価が向上したことで、町へのメバルの経済効果がみられる一方で、継続・発展していくには、新たな仕掛けにより、リピーターや新規ファンを獲得して効果をより高める必要がある。</p> <p>よって、町をさらに全国へ発信し、リピーターを含む多くの観光客を呼び込んでメバル膳を食し、県外へは新鮮なメバルを出荷し、おいしさを堪能してもらうことで、水産と観光を組み合わせた事業を展開し、『メバル推し』で町の活性化と所得の向上を図る。</p>						
6	事業計画概要	<p>■メバル膳の磨き上げ(メバ膳2) <H29～H30> 新メニューを開発。デビュー4周年にリニューアルしたメバル膳を発表するスケジュール。鮮度維持のため、急速冷凍システムを導入。</p> <p>■メバル料理グランプリ <H29～H30> メバル膳提供店舗5店舗が新メバルグルメで対決し、優勝メニューは、各店舗で限定メニューとして販売していく大イベントを開催する。</p> <p>■姉妹品販売促進と「メバセン！」等のオリジナル商品の開発 <H29～H31> メバルを活用した新たな商品『メバセン』、メバルのお茶漬け、メバルめしなどの新たなオリジナル商品づくりを進め、関連消費拡大を狙う。</p> <p>■『中泊はメバ焼き』、『中泊はメバねぶ』等でPR <H30～H31> 中里高校SBPが開発した『メバ焼き』の販促活動による町のPRと高校生の人材育成に努める。さらに、中泊町の金魚ねぶた『メバねぶ』を製作し、町内への展示や全国高校生SBP交流フェアへの出店を通じた全国PRに努める。</p> <p>■トップセールス「メバルは生がいいね」 <H30～H31> 首都圏、関西圏等でトップセールスを開催。「生」のおいしさを実感してもらう「刺身で食べる文化の普及＝新鮮」をPRし販売拡大を図る。</p> <p>■メバル漁師らの育成(メバリスト育成) <H30～H31> メバル漁師・漁協等の若手で構成する団体「中泊活ハマクラブ」の活動を支援。活ハマまつりやメバル網外し等の体験メニューを充実させ、漁師の魅力・魚の魅力をPR。これまでの獲ったら終わりのスタイルから、消費者に届くまで関わることで、彼らの意識改革に繋げていく。</p> <p>■メバルっ子の育成 <H30～H31> 町と一緒にPRしようという子どもたちが、メバルを食べたことがないという子が多数を占める。そこでメバルについてレクチャーし、さらに学校給食へメバルを提供し、そのおいしさを実感した後、修学旅行等でメバルの魅力を実感してもらう。</p> <p>■冬期間限定メバル膳(仮称)の開発 <H31> メバル膳に続く新たな冬メニューを開発し、冬期間の誘客を強化する。</p>						
7	年度別事業費 (単位:円)	年 度	予 算 額	左の財源内訳				備 考
				国	県	その他	一般	
		H29(実績)	14,452,274	7,226,136			7,226,138	国庫補助1/2
		H30(実績)	17,807,279	8,903,639			8,903,640	"
		H31(計画)	12,573,000	6,286,000			6,287,000	"
		合 計	44,832,553	22,415,775			22,416,778	"

8	平成30年度 実施事業 (金額は実績)	■メバル膳の磨き上げ(メバ膳2) 3,800,000円 メバル料理推進協議会補助金(原材料費、開発委託料、広告宣伝他) ■メバル料理グランプリ開催 5,080,000円 メバル料理グランプリ実行委員会補助金(イベント経費、広告宣伝他) ■「中泊はメバ焼き!」、「中泊はメバねぶ」等でPR 1,234,484円 メバルねぶたキッド開発・指導、全国高校生SBP交流フェアPR経費 ■トップセールス「メバルは生がいいね!」 1,901,885円 メバルのトップセールス原材料費、旅費	■メバル漁師らの育成 1,600,000円 メバル網外し等の体験事業、活ハマまつり開催経費 ■メバルっ子の育成 1,004,910円 メバル料理推進協議会補助金(メバル給食経費)、小中学校修学旅行PR経費 ■姉妹品販売促進と「メバセン!」開発 3,186,000円 メバル料理推進協議会補助金(メバセン開発原材料費、開発委託料他) 合計 17,807,279円									
9	平成30年度 実施分の事業 実績・効果等	メバ活プロジェクトの主力商品であるメバル膳が、デビューから3年を経過し新鮮味が薄れテコ入れが急務であることから、メバル膳の磨き上げ事業によりリニューアルを行うとともに、姉妹商品である『メバセン』を開発・販売し、先行しているメバチンとあわせて、おみやげを充実させた。前年度の準備期間を経て開催したメバル料理グランプリは盛況で、10種類のメニューは全て完売し、地元産メバルの美味しさによる町おこしに効果があった。さらに県外へ発信するため、町・協議会・活ハマクラブが一体となり、首都圏や関西圏でのトップセールスを行い、生のメバルのおいしさを広め、中里高校SBPはメバルねぶたを作成し、なかどまりまつりや青森ねぶた祭でPRを行った。また、地元の子どもたちが学校給食でメバルの美味しさを知り、修学旅行でPRを行う『メバルっ子の育成』や、活ハマクラブが将来のメバル漁師を育成する事業を展開し、官民協働の体制でメバルによる町おこしに取り組んだ。										
10	重要業績評価 指標(KPI)	設定されているKPI	事業前	①、②増加目標値／③、④目標値				実績値／達成率				残
				H29	H30	H31	累計	H29	H29	H30	H30	H31
		① メバル膳関連経済効果(H27.7月～29.3月)	201,976,275	88,125,000	129,250,000	129,250,000	346,625,000	83,845,000	95.1%	85,686,125	66.3%	177,093,875
		② メバル膳販売食数(H27.7月～29.3月)	35,676	15,000	22,162	22,162	59,324	14,644	97.6%	14,927	67.4%	29,753
		③ 観光入込客数(H27)	246,253	256,103	265,953	275,803		242,377	94.6%	244,499	91.9%	
		④ メバルのキロあたり魚価(H23～27平均)	1,614.60	1,654.97	1,654.97	1,654.97		1,599.00	96.6%	1,260.00	76.1%	
11	担当課意見	C	A 非常に効果的であった B 相当程度効果があった C 効果があった D 効果がなかった									
12	上記の理由	メバル膳関連の経済効果・販売食数について、KPIの目標値には届かなかったものの、いずれも前年度をわずかに上回っており、リニューアルしたメバル膳が平成31年3月25日にお披露目され、同年4月1日から本格デビューしたことから、今後売り上げの増加が期待できる。また、観光入込客数は、昨年度に続き夏場の低温とイカの不漁による商品不足の影響で目標には届いていないものの、前年度からは微増である。メバルの魚価に関しては、近年にない豊漁による供給過多が原因で、市場価格そのものが下落しているためであり、メバル膳の販売不振によるものではない。 上記の結果を踏まえ、事業に一定の効果があったと考えられる。										
13	審議会の評価	A	A 目標の達成に有効であった B 目標の達成に有効とは言えなかった									
14	改善事項等	改善指摘事項は特になし。 以下主な意見 ・メバセンは生臭さを感じる人も多いと思うので、少し味を変えた方がよいと感じる ・地元の小中学校の給食にメバルの塩焼きを出しているが、今の子どもたちはあまり食べたことがないと思うので、大変良い取り組みだ ・メバル膳で町に活気がでてきて、店で食べている人もよく見かける。今後も続けていくべきだ										